

平成29年度 第1回中区協議会

会議資料

【報告事項】

- ア 遠州灘海浜公園（篠原地区）への野球場整備について
- イ 区政運営方針2017について
- ウ 平成29年度予算にかかる区重点提案事業の結果について
- エ 平成28年度のパブリックコメントの結果について

平成29年4月26日開催

中区協議会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項
件 名	遠州灘海浜公園（篠原地区）への野球場整備について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年5月に県において策定された基本構想を踏まえ本市においても大型スポーツ施設調査等特別委員会を立上げ、平成28年度に10回開催した。
対象の区協議会	全区協議会
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 特別委員会の進捗状況報告について 今後の予定について
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年7月開催の全区協議会にて協議済
担当課	スポーツ振興課、公園課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成29年4月26日
市民部スポーツ振興課
都市整備部公園課

遠州灘海浜公園（篠原地区）への野球場整備について

大型スポーツ施設調査特別委員会協議内容

第1回（6/21）

- (1) 大型スポーツ施設について
- (2) 遠州灘海浜公園基本構想について
- (3) 課題について

第2回（8/12）

- (1) 要望書について（議長あて 5団体）
- (2) 遠州灘海浜公園の整備に係る経緯について

第3回（8/29）

- (1) 要望書について（市長、知事あて 20団体）
- (2) 区協議会での意見等について

第4回（9/20）

- (1) 四ツ池公園整備の考え方
- (2) 野球場の候補地の検討について

第5回（9/26）

- (1) 要望書について（市長、知事あて 1団体）
- (2) 野球場の候補地の検討について

第6回（10/17）

- (1) 四ツ池公園整備の考え方について（県営施設との比較など）
- (2) 野球場の候補地の検討について（他都市野球場との比較など）

第7回（11/22）

- (1) 四ツ池公園整備の考え方について（設備の耐用年数など）
- (2) 野球場の候補地の検討について（他都市施設の状況など）

第8回 (12/19)

- (1) 四ツ池公園整備の考え方について (県議会の状況など)
- (2) 野球場の候補地の検討について (県地質調査結果など)
- (3) 委員間討議

第9回 (1/19)

- (1) 四ツ池公園整備の考え方について (改修工事履歴など)
- (2) 野球場候補地選定に係る課題について (概算事業費など)

第10回 (2/8)

- (1) 遠州灘海浜公園基本構想及び調査項目について (静岡県所管部局質疑応答)
- (2) 四ツ池公園整備の考え方について (四ツ池公園運動施設現況調査 (中間報告))

※篠原地区の可能性について、6項目(交通アクセス、地形地質、環境、風、塩害、津波被害)の調査実施を合意した。

今後について

1 四ツ池公園運動施設現況調査

- ・平成29年3月末に調査業務完了

2 野球場候補地選定に係る課題調査

- ・予算額 29,000千円(平成29年度予算計上)
- ・調査期間 環境調査は、概ね1年。
その他の項目は、年内を予定している。
- ・議会報告 中間報告(秋頃を予定)
最終報告(年内を予定)

第9号様式

区 協 議 会

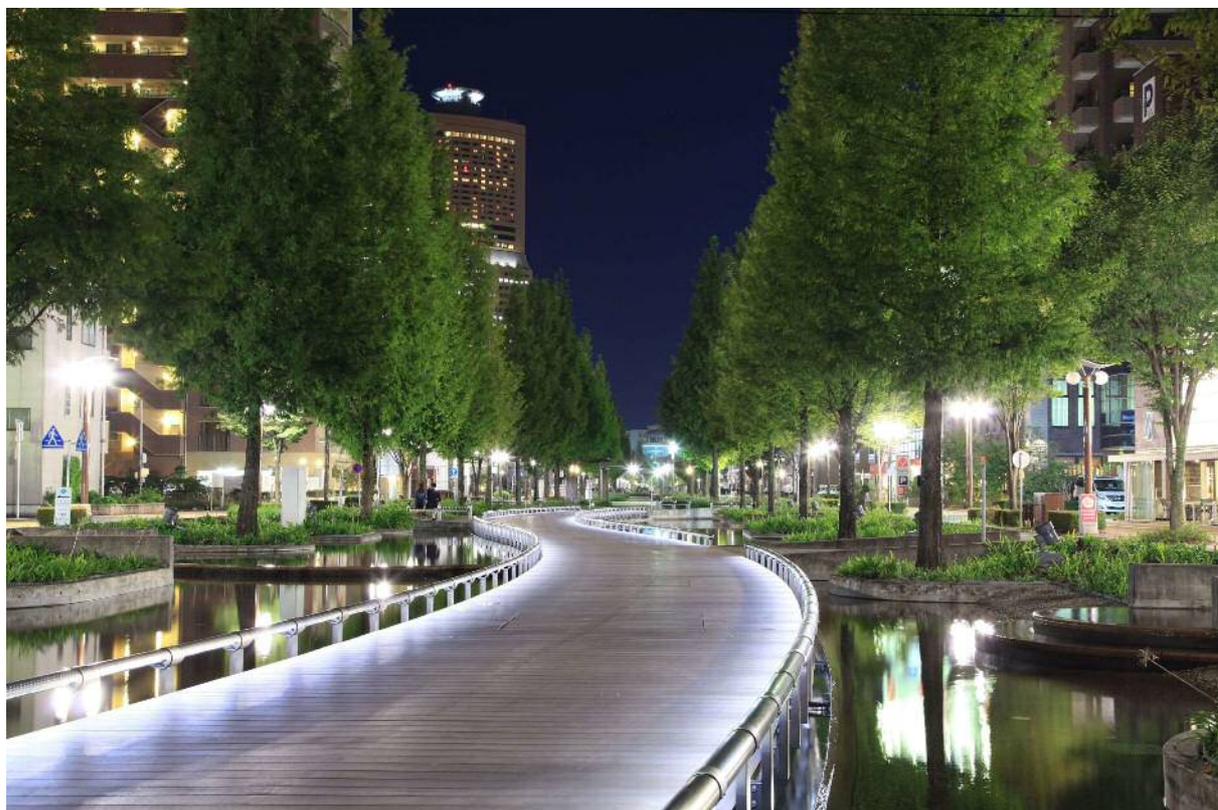
区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項
件 名	中区区政運営方針2017について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	中区区政運営方針とは、区民の皆様とともに地域の課題を解決し、市民サービスの向上や暮らしやすい地域づくりを進めるために、区長が区政運営の基本的な方針、区の取組課題等を毎年度区民のみなさまに公表するもの。
対象の区協議会	中区協議会
内 容	別紙のとおり
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	—
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。



区政運営方針 2017

「都市の顔 薫る文化の 中区」を目指して



平成29年4月 浜松市中区

<表紙の写真>

平成27年度中区地域力向上事業

中区よいとこフォトコンテスト入賞作品

	タイトル	撮影者 (敬称略)
①金賞	街灯りともる並木道	川田 廣行
②家康くん賞	懐かしいトンネル	吉田 峯治
③入選	ターミナルとアクトタワー	藤田 正男

①

②

③

区政運営方針とは？

中区区政運営方針は、中区の将来像「都市の顔 薫る文化の 中区」の実現に向け、中区民の皆さまとともに地域の課題を解決し、市民サービスの向上や暮らしやすい地域づくりを進めるために、区政運営の基本的な考え方や、今年度、取り組む施策をお示しするものです。

区政運営にあたり、中区役所は、日常的な総合行政サービスを身近で提供するとともに、市民協働を通じて、区民の皆さまが主体であるまちづくりを進める拠点として、その使命と役割を果たしてまいります。

平成 29 年度の基本方針

中区役所では、区民の皆さまが利用しやすい区役所を目指し、「市民目線・市民基準」・「現場主義」をモットーに、次の 2 点を基本方針として、区政運営を進め、さまざまな事業に取り組んでまいります。

● 区民の皆さまに親しまれ信頼される区役所づくりを推進します

区民の皆さまの意見を十分に反映し、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度を高めます。

● 区民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりを推進します

地域の防災力・防犯力・安全性を高め、区民の皆さまとの協働により「安全・安心なまち 中区」を実現します。

平成 29 年度の重点的な取り組みの柱

- 1 にぎわいと文化を育むまち・中区
- 2 共生のところで優しさあふれるまち・中区
- 3 安心して快適に暮らせるまち・中区

1 にぎわいと文化を育むまち・中区

区協議会の運営 【区振興課】

毎月1回程度開催

安心して住みやすい中区を実現するため、区協議会での区民の皆さまの声を踏まえた活発な議論に基づき、区民の意向を区政に反映します。平成 29 年度は毎月 1 回程度を開催し、会議で話し合われたことの概要は、広報はまつの中区民のページで「区協議会だより」として掲載します。また、広い視野で地域課題を協議するため、委員研修や現地視察にも取り組みます。

自治会集会所整備への助成 【区振興課】

2 自治会（改築 2）に助成

地域のコミュニティづくりを推進するため、自治会集会所の新築・改築等を支援します。

地域力向上事業の実施 【区振興課ほか】

地域力向上事業 14 事業を実施

住みやすい地域社会を実現するため、市民からの提案等による地域の課題を解決したり、地域の魅力を活用する事業を実施します。助成事業（8 事業）、区民活動・文化振興事業（3 事業）、区課題解決事業（3 事業）の 3 つの区分により、市民活動団体などの自主的な活動を支援します。

生涯学習、文化・スポーツ施設を活用した生きがいがづくり 【まちづくり推進課】

協働センターの使用率 78%

「学び」を通じて健康や楽しみ、生きがいがづくりを進めるとともに、学習の成果を発揮できる機会をつくることにより、地域学習リーダーや地域ボランティアの育成に努めます。また、地域のさまざまな団体の活動を支援するため、地域コミュニティの拠点として協働センターなどの利用を促進します。

クリエート浜松や北部水泳場などでは、指定管理者の創意工夫による自主事業の展開を奨励し、魅力ある文化・スポーツ施設の運営に努めます。



平成 28 年度地域力向上事業「区課題解決事業」
集まれ!!未来へ輝く元気キッズ in 中区 表彰式



平成 28 年度地域力向上事業「区課題解決事業」
交通事故ワースト 1 脱出啓発事業

2 共生のところで優しさあふれるまち・中区

保育サービスの充実 【社会福祉課】

保育施設の定員 60 人増

保育施設の増改築により定員増を行うとともに、「一時預かり」「病児・病後児保育」の特別保育等の保育メニューの情報提供を行い、保育サービスの充実を図ります。

安定した生活の実現と自立に向けた支援 【生活福祉課】

通年で実施

失業などにより生活に困窮している方に対し、生活の相談や援助、就職活動などの支援を行うことにより、安定した生活の実現と自立を進めます。

徘徊高齢者早期発見事業 【長寿保険課】

通年で実施

認知症による徘徊高齢者の早期発見のための情報発信をするオレンジメールや身元確認を容易にするために靴に貼るオレンジシールの普及を図り、①早期発見早期対応、②地域の日常的な見守りと安全安心なまちづくり、③認知症の介護をしている人の負担の軽減を図り、認知症高齢者やその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指します。

健康はままつ 21 の推進 【健康づくり課】

保健師の母子訪問件数 4,500 件

健康はままつ 21 の 3 つの目標「健康寿命の延伸」、「生活の質の向上」、「子どもの健やかな成長」の実現に向け、保健師等が健康相談や家庭訪問等の地域保健活動を行うことにより、若い世代から高齢者までの生活習慣病の予防に取り組みます。

ユニバーサルデザイン啓発事業 【区振興課】

ユニバーサルデザインに関する出前講座の実施

誰もが暮らしやすいまちをつくるユニバーサルデザインの考え方や取り組みについて、出前講座などを通じて啓発に取り組みます。



徘徊高齢者用のオレンジシール



ユニバーサルデザインの出前講座

3 安心して快適に暮らせるまち・中区

交通安全の推進 【まちづくり推進課】

高齢者交通安全教室 30 回、参加者数 1,000 人

人口 10 万人あたりの交通事故件数全国ワースト 1 脱出のため、交通安全教室や交通安全フェスティバルなどの開催を通じて、交通安全意識の向上に取り組みます。また、高齢者を対象とした交通安全教室を開催するとともに、子どもの交通事故防止、飲酒運転根絶、自転車走行のマナーアップなどの啓発活動を自治会など地域の皆さまとともに進めます。

防犯灯の設置や維持管理への助成 【区振興課】

LED 化 1,637 灯、新規設置 240 灯

夜間の犯罪防止や交通安全を図るため、LED 防犯灯を設置、維持管理する中区内の自治会に対し、設置費や維持管理費を助成します。自治会の協力のもと平成 25 年度から進めてきた防犯灯の LED 化を完了させ、CO₂ の削減や省エネルギー化を図ります。

防災意識啓発事業 【区振興課】

防災出前講座を実施

「自助」「共助」をテーマとした出前講座を行い、地域の防災力を強化するとともに、中区版避難行動計画の活用を促進します。

自主防災隊への助成 【区振興課】

139 自主防災隊に助成

地域の防災力を強化するため、自主防災隊が行う資機材の購入や防災倉庫の新設・増設・修繕を支援し、自主防災隊活動の活性化を図ります。

地域コミュニティ活動・市民協働の推進 【区振興課・まちづくり推進課】

協働センターを核とした地域課題解決事業の実施

住みやすい地域づくりを進めるため、区役所や協働センターにコミュニティ担当職員を置き、市民協働・コミュニティづくりについての啓発や相談を行います。また、地域コミュニティ組織の設立運営に係る支援を行い、自治会や NPO などの地域活動団体を支えます。

マイナンバーカードの交付率向上 【区民生活課】

マイナンバーカード交付率 12%

マイナンバーカードの交付率を現在の 8% から 12% に向上させ、区民の利便性を図ります。

行政連絡文書の配布 【区振興課】

広報はままつなどの確実な配布

自治会を通じて、広報はままつなどの市政情報紙を配布・回覧します。配布の過程における隣人や住民同士の触れ合いにより、地域コミュニティの維持、形成を図ります。

1 にぎわいと文化を育むまち・中区

実績と進捗状況の評価



左記の評価理由

- ・ 区協議会を 10 回開催し、中区における各界各層の意見を区政に反映しました。
- ・ 自治会集会所整備は 7 自治会に助成し、地域住民のコミュニティづくりに寄与しました。
- ・ 地域力向上事業では、提案のあった 10 件のうち 8 件に助成し、各団体が中区の地域課題を解決するために、主体的に取り組みました。「交通事故ワースト 1 脱出」啓発事業や、馬込川流域の洪水ハザードマップを作成するなど、安全で安心な社会の実現に努めたほか、中区案内マップを作成し、転入者への配布を開始しました。
- ・ 協働センターの利便性や安全性を高めるため、施設のユニバーサルデザイン化工事（エレベーター、スロープ、授乳室の設置等）、長寿命化工事（外壁改修、屋上防水）を行いました。
- ・ 協働センターがより身近になるよう、魅力ある講座を企画するとともに、協働センターだよりや市公式ホームページなどの活用により講座を紹介して、センターの使用率向上に努めました。
- ・ 大学との連携事業や学習成果活用事業などを実施し、幅広く市民の知識や経験を発表・継承する場を設けるとともに、講座修了者を中心に地域活動団体の育成に努めました。

2 共生のところで優しさあふれるまち・中区

実績と進捗状況の評価



左記の評価理由

- ・ 認定こども園の定員を 170 人増員し、働く意欲のある母親を継続して支援し、保育サービスの充実を図りました。また、引き続き「保育サービス相談員」を配置し、保育所利用希望者に認可保育所の空き状況や認可外施設の保育メニュー等の情報提供を行いました。
- ・ 健康はままつ 21 の 3 つの目標「健康寿命の延伸」「生活の質の向上」「子どもの健やかな成長」の実現に向け、保健師等が健康相談、家庭訪問等の地域保健活動を行い、若い世代から高齢者までの生活習慣病の予防に取り組みました。
- ・ オレンジメール（徘徊高齢者の情報発信）は 216 人、オレンジシール（徘徊高齢者の靴に貼るシール）は 137 人が登録し、5 人の徘徊高齢者が発見されました。
- ・ 専任の「面接相談員」や「就労支援相談員」を配置し、失業などにより生活に困窮している方の生活相談や就労に関する相談、就職活動のアドバイスを行うことにより、200 人を超える就労自立を図りました。

3 安心して快適に暮らせるまち・中区

実績と進捗状況の評価



左記の評価理由

- ・ 交通事故ワースト 1 脱出のため、高齢者事故に焦点を合わせ、自治会やシニアクラブ等を対象に高齢者交通安全教室を 28 回開催（840 人参加）し、交通安全意識の啓発に努めました。平成 28 年の中区内の交通事故件数は 2,706 件と、平成 27 年の 2,920 件から減少しました。
- ・ 防災出前講座などを開催し、中区民への防災意識の啓発と防災・減災力の向上を図りました。
- ・ 中区内 141 の自主防災隊のうち、124 隊に対し防災資機材購入に係る助成を行ったほか、12 隊に対し防災倉庫の新設・増設・修繕に係る助成を行い、地域防災力の強化を図りました。
- ・ 防犯灯の LED 化に取り組み、3,655 灯に対する助成を行いました。平成 25 年度に開始した防犯灯の LED 化は、91%まで進みました（LED 防犯灯数／防犯灯数）。
- ・ 平成 28 年 7 月から市内 353、市外 177 のコンビニ店舗で住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部（個人）記載事項証明書が取得できるようになりました。



目標より進んでいる



目標どおり



目標より遅れている

区民の皆さまとの約束（各課の取り組み姿勢）

課 名	各 課 の 目 標	目 標 水 準 ・ 達 成 時 期
区振興課	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 広報はままつで、身近な行政情報を提供するとともに、中区で活躍している人や歴史的資産などの情報提供にも努めるなど、より地域に密着した情報を発信します。 	★広報はままつ中区民のページを充実します。（毎月5日発行）
	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 自主防災隊との連絡を密にし、地域の防災対策を充実します。 	★防災訓練など自主防災隊の行う活動を支援します。
区民生活課	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 区民の皆さまの身近な窓口として、各種届出や証明書交付など、適正・迅速・丁寧な対応に努めます。 	★窓口サービスに対する満足度（市民への約束アンケート 評価点）4.5点以上を目指します。
まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 各協働センターで地域団体等と連携して協働事業に取り組むとともに、協働センターだよりや浜松市公式ホームページ内の「中区協働センター通信」などを活用し、各種講座事業の情報発信に努めることにより、生涯学習や文化、スポーツの振興を図り、学びを通じて健康や楽しみ、生きがいづくりを育む環境に取り組めます。 	★協働センター平均使用率78%を目指します。
	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 人口10万人あたり交通事故件数全国ワースト1からの脱出のため、交通安全教室や交通安全フェスティバルなどの開催を通じて交通安全意識の向上に取り組めます。 	★中区内における交通事故数3割削減を目指します。
社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 保育サービスや放課後児童会の充実と子育て家庭及びひとり親家庭等への支援により、児童の健全育成に取り組めます。 	★保育施設の定員を60人増員します。
生活福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 失業などで生活にお困りの方に対する相談や生活面での援助、就労に関する就職活動のアドバイスを行い、個人の自立した生活をサポートします。 	★150人の就労を支援します。
長寿保険課	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」のサービスが切れ目なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」づくりをさらに推進するとともに、中核組織である「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」の機能強化と関係機関との連携に努めます。 	★高齢者相談センター（地域包括支援センター）の機能を強化し、関係機関との連携に努めます。
健康づくり課	<ul style="list-style-type: none"> ✦ 区民の皆さまが心身ともに健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、健康の保持増進に関する情報の提供やきめ細かな保健サービスの提供に取り組めます。 	★保健師の母子訪問件数4,500件を目指します。

平成 29 年度の区の経営に要する資源

◆ 中区の組織

区振興課

広聴広報、自治振興、区協議会、人事、厚生、予算、決算、統計、文書、情報公開、住居表示、防災対策、普通財産の管理、ユニバーサルデザイン、区内の総合調整、選挙等

区民生活課

戸籍、住民基本台帳、印鑑登録などの市民窓口業務、パスポート、埋火葬等

まちづくり推進課

文化・スポーツ・生涯学習の推進、協働センター、環境美化、交通安全、産業振興に係る受付等

社会福祉課

地域福祉、障害福祉、児童福祉、保育、母子福祉、家庭児童相談、女性相談等

生活福祉課

生活保護

長寿保険課

高齢者福祉、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険、国民年金等

健康づくり課

地域保健活動、母子保健、予防接種、栄養事業、がん検診、難病対策、歯科保険等

◆ 職員数(人)

中区職員	H28 年度	H29 年度
計	476	485
区長等	2	2
区振興課	24	24
区民生活課	110	114
まちづくり推進課	94	95
社会福祉課	70	72
生活福祉課	60	60
長寿保険課	81	81
健康づくり課	35	37

H28 年度職員数－H28. 4. 1 現在、H29 年度－H29. 4. 1 現在

◆予算規模(千円)

	H28 年度		H29 年度		
	区役所費	本庁からの 配当	区役所費	本庁からの 配当	
事業費計	413,196	11,389,348	321,608	11,601,861	
一般会計	413,196	11,015,168	321,608	11,285,373	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	—	4,987	—	4,646
	介護保険事業特別会計	—	366,821	—	309,452
	後期高齢者医療事業特別会計	—	2,372	—	2,390

	H28 年度		H29 年度	
	職員数	金額	職員数	金額
人件費計	476	2,358,245	485	2,383,391
正規職員(職員数×約 7,000 千円)	228	1,631,007	225	1,613,671
再任用職員(職員数×約 3,600 千円)	30	108,690	27	98,739
非常勤職員(職員数×約 2,800 千円)	218	618,548	233	670,981

*再任用職員 ⇒ 再任用短時間勤務職員
H28 年度—H28 当初予算額、H29 年度—H29 当初予算額

各区の状況



区の人口、面積

項目	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
人口 (人)	239,068 29.6%	129,981 16.1%	112,054 13.9%	102,954 12.8%	93,792 11.6%	98,472 12.2%	30,086 3.7%	806,407 100.0%
面積 (k m ²)	44.34 2.8%	46.29 3.0%	114.71 7.4%	46.84 3.0%	295.54 19.0%	66.50 4.3%	943.84 60.6%	1,558.06 100.0%
人口 密度	5,391.7 人/k m ²	2,808.0 人/k m ²	976.8 人/k m ²	2,198.0 人/k m ²	317.4 人/k m ²	1,480.8 人/k m ²	31.9 人/k m ²	517.6 人/k m ²

※「人口」は、住民登録者数(H29.4.1現在)

※「面積」は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(H28.10.1公表)

中区役所のご案内

(上段) 浜松市役所・中区役所 (外観)

(下段) アクトシティ浜松

中区役所は、浜松市役所本館1～2階の一部です。



お問い合わせ

浜松市 中区役所 区振興課

所在地： 〒430-8652 浜松市中区元城町 103 番地の 2

電話： 053-457-2210 FAX： 053-457-2776

E-mail： c-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

ホームページURL： <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ward/nakaku/>

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項
件 名	平成 29 年度当初予算にかかる区重点提案事業の結果について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	—
対象の区協議会	中区協議会
内 容	平成 29 年度当初予算における区重点提案事業の結果について報告するもの。 詳細は別紙のとおり。
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	—
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成29年度予算編成に対する区重点提案事業

No.	事業	区からの提案	区提案課	本庁所管課	所管課からの回答（予算要求の方向性と結果）
1	浜松斎場改修工事	浜松斎場は、施設の老朽化が顕著であるが、他の斎場の拡張などにより市内斎場全体の火葬処理能力が確保できるまでは、引き続き、現在の施設を維持しなければならない。このため、既存火葬炉内部の耐火物や火葬炉台の交換、斎場待合室内装改修工事等を、年次修繕計画を作成し、順次毎年、確実にを行う必要がある。	まちづくり推進課	市民生活課	<p><予算要求の方向性> 浜松市全体の斎場再編・整備方針を、平成28年2月に策定した。なお、斎場の再編・整備が完成するまで、浜松斎場は従来どおりの稼働率を維持することが必要となり、火葬炉の改修は必要と考える。予算要求については、以下のとおりとする。 ●主燃焼室、再燃焼室、断熱扉の耐火物交換16基、火葬炉台車交換14台 ●斎場棟の待合室・ホール壁・天井等内装工事について、浜松斎場は建替え予定であるため、予算要求を行わないものとする。</p> <p><要求を行わない理由> 斎場棟の待合室・ホール壁・天井等内装工事について、浜松斎場は建替え予定であり、安全・安心目的ではないより快適を求める工事は必要ないと考えるため。</p>
2	クリエート浜松・設備等改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエート浜松のホールは高い使用率（75%）で利用されているが、築28年経過し、設備等の老朽化が著しい状態である。 ・照明設備と吊物設備は、開館当時からのものである。 ・照明設備では回線系統の劣化により、コードからの発火が危惧される。 ・吊物設備の操作制御盤は耐用年数(10年)を大幅に経過し、不具合が生ずれば、吊物機構の操作が一切できないため、休止を余儀なくされる。また、操作をする場所がホール内を見渡せる場所に設置されておらず危険を伴っているため、移設の必要が生じている。 	まちづくり推進課	生涯学習課	<p><予算要求の方向性> 昨年度に提案があった事業（4工事）のうち、音響設備改修工事及び高圧ケーブル改修工事については、平成28年度当初予算にて予算措置を行った。照明設備更新工事及び吊物制御機器改修工事についても、必要性は認識しているが、他の施設の状況等を考慮して、全体的な優先順位を判断しながら、平成29年度当初予算要求にて予算要求を行っていく。</p> <p><予算要求の結果> 平成29年度当初予算額：0円</p>
3	高台協働センター正面玄関前通路の通行支障樹木撤去工事	<ul style="list-style-type: none"> ・正面玄関前は南北に通路が設置されており、路面はインターロッキング構造となっている。通路の中央部に沿って高木（クスノキ・h=6m）が4本植栽されているが、その内3本の根が盛り上がり通行の妨げになっている。 ・特に最も北側の1本は10cmぐらい根上がりしている部分があり、点字ブロックにも影響がでている。南側からの2本は通路のインターロッキングを壊すなど通行者の躓きの原因となっている。現在は、通行の妨げになる部分にベンチを置くこと等により、通行者の転倒防止に努めている状態である。 ・最も根上がりのひどい北側の1本は伐採伐根し、破損したインターロッキングの補修を行いたい。 	まちづくり推進課	市民協働・地域政策課	<p><予算要求の方向性> インターロッキング舗装は補修費がかさむため、補修の際は今後のコストを考え、アスファルト舗装・インターロッキング舗装のどちらで補修するのか検討していく必要があるが、利用者の安全に関わる問題であるため、平成29年度当初予算要求で必要経費を要求していく。</p> <p><予算要求の結果> 平成29年度当初予算額：0円</p>
4	曳馬協働センター体育館放送設備修繕工事	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に公共建築課施工による体育館吊り天井撤去工事が行われ、吊り天井を撤去した後に、ビニール製天井幕に全面張り替えがされた。 ・工事後、体育館内の音の反響が大きくなり、音響設備を使用するとハウリングのような残響が起り、スピーカーを通した音声は聞き取れない状況となっている。音響メーカーの調査によると、壁に固定設置されたスピーカーの位置の変更で改善されるとのアドバイスを受けたが、現音響設備は設置後37年が経過し、交換部品の在庫もなく移設工事は困難との回答。 ・公共建築課は、吊り天井撤去工事の瑕疵によるものではないため対応できないという。 ・曳馬協働センターは、成人式を始め、協働センターまつりや敬老会など、体育館を利用したイベントが多く、音響設備の使用は必須であり、音声が聞き取れない状態の改善は必要である。老朽化した機器の交換と、スピーカーを可動式にすることにより、鮮明な音声を可能としたい。 	まちづくり推進課	市民協働・地域政策課	<p><予算要求の方向性> 今年度は、自治会連合会の「浜松市自治会連合会コミュニティ事業助成金放送機材利用申請」を利用し、音響機材を借り受けて対応していると聞いている。協働センターの事業に影響がでていることもあり、平成29年度当初予算要求で必要経費を要求していく。</p> <p><予算要求の結果> 平成29年度当初予算額：0円</p>

No.	事業	区からの提案	区提案課	本庁所管課	所管課からの回答（予算要求の方向性と結果）
5	佐鳴台協働センター北側駐車場整備工事	<ul style="list-style-type: none"> ・佐鳴台協働センターの北側駐車場は、身障者用1台を含め20台であり、路面はインターロッキング構造となっている。 ・設置後30年を経過し、駐車車両の通行からインターロッキングの一部が崩れ、石の隙間が大きくなっている部分が出てきた。利用者には注意を呼び掛けているが、この隙間に足を取られて踏く人もいる。そのまま放置すれば、今後いっそうインターロッキングが崩れ歩行者が躓きやすくなり、利用者の大怪我につながる恐れがある。 ・平成24年度に特に損傷の大きかった出入口部分の38㎡を、インターロッキングからアスファルト舗装に替える工事を行った。残り281㎡もアスファルト舗装にしていきたい。 	まちづくり推進課	市民協働・地域政策課	<p><予算要求の方向性> 利用者の安全に関わる問題であることと、アスファルト舗装に比べ、インターロッキング舗装は補修費がかさむため、アスファルト舗装にすることで補修費節減も見込まれることから、平成29年度当初予算要求で必要経費を要求していく。</p> <p><予算要求の結果> 平成29年度当初予算額：0円</p>
6	北部水泳場屋内プール改修事業	<p>①屋内プール用ボイラー等加温設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部水泳場は建築後19年経過しており、屋内プールの水温と中央監視装置の計器に不具合が発生している。 ・空調ボイラーが平成29年度公共建築課長寿命化工事にて施工される。同型ボイラーがプール加温用として使用されており、使用頻度が空調用ボイラーより高いため、同時期に更新を行うもの。 <p>②屋内プール照明改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化により、プール水の塩素の影響による台座への錆が発生しているため、錆がプールサイドに落ち、利用者がけがをする可能性がある。 ・耐塩害仕様のLED灯に変更することにより、錆の浸食を防ぐことができ、電力の削減が見込まれることから、早めの改修が必要と考える。 <p>③防犯カメラ設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全・安心（プールの安全管理面）を確保するため、下記必要箇所に防犯カメラの設置を要望する。 ・平成27年12月28日 浜松中央署 生活安全課 少年係から施設の管理上、防犯カメラ設置要望があった。 	まちづくり推進課	スポーツ振興課	<p><予算要求の方向性> 平成29年度予算で要求していく。</p> <p><予算要求の結果> ①屋内プール用ボイラー等加温設備改修工事：12,608千円（設計・監理委託料：1,114千円 工事請負費11,494千円） ②屋内プール照明改修工事、③防犯カメラ設置工事については平成29年度予算は無し。</p>
7	豪雨に伴う浸水害対策	<p>（区協議会委員意見） 近年、気象の変動に伴い、ゲリラ豪雨などにより中区においても浸水被害が多発しており、対策が必要である。</p> <p>浸水被害が多発する地域（南伊場町、佐鳴台一丁目、段子川下流等）の排水対策事業</p>	区振興課	河川課	<p><予算要求の方向性> 東伊場、南伊場、入野の一部及び佐鳴台一丁目は二級河川堀留川流域であり、平成27年9月の豪雨により浸水被害が発生した。現在市では、県が計画した堀留川改修計画に合わせ、排水路の改良や貯留・浸透による流出抑制対策等、下水道事業と連携した総合的な対策を進めている。これまでに、流域対策としてJR浜松工場内を通過する排水路の改良工事を進めるとともに、雨水の流出抑制対策として平成26年に同排水路の下流へ調整池を設置した。二級河川段子川については、基本的な整備はすでに完了しており、今後も維持管理計画に基づき適切に河川の維持修繕を実施する。 また、集中豪雨等による道路冠水の頻度の高い浸水箇所においては、排水路や集水枘の点検清掃を実施している。</p> <p><予算要求の結果> ①普通河川 鴨江8号排水路 水路工107m（JR委託） H29当初予算額：49,000千円 工期：4月1日～3月31日 ②普通河川 東伊場4号排水路 水路工150m H29当初予算額：82,000千円 工期：10月～3月予定 ③二級河川 段子川 河床掘削工340m H29当初予算額：40,000千円 工期：10月～3月予定</p>

No.	事業	区からの提案	区提案課	本庁所管課	所管課からの回答（予算要求の方向性と結果）
8	放課後児童会の拡充	<p>（区協議会委員意見） 待機児童問題があるが、放課後児童会の施設が狭く、現状では無理である。 放課後児童会の施設の更なる拡充</p>	区振興課	教育総務課	<p><予算要求の方向性> 利用ニーズや児童推計をふまえ、学校施設や近隣の公共施設、民間の運営主体の活用などを検討した上で、実施箇所や拡大手法を選定し、所要経費を予算要求していく。</p> <p><予算要求の結果> ●平成29年度当初予算額：14,200千円（工事請負費） ●実施箇所及び増加定員数は、今後学校等と協議を行い決定する。</p>
9	防災啓発事業	<p>（区協議会委員意見） 地域住民の防災への意識を高める啓発がより一層必要となっている。 東京都で都民向けに配布されているハンドブック（東京防災）のような啓発冊子の作成及び配布</p>	区振興課	危機管理課	<p><予算要求の方向性> 本市でも東京防災のような市民向けの啓発冊子「区版避難行動計画」を平成25年度に全戸配布した。（製作は、H23、H24年度）。H30年で5年を経過するため、平成29年度更新版の作成について予算要求を行う予定。</p> <p><予算要求の結果> ●内容：区版避難行動計画内容の一部更新 ●平成29年度当初予算額：1,940千円（印刷製本費） ※H28年度予算の対応した部数（中区3,000部） ●各区の在庫状況を踏まえ、増刷分を更新する。</p>
10	小・中学生に対する防災教育の充実	<p>（区協議会委員意見） 防災意識は日常生活の忙しさに徐々に意識が薄れていくことが多い。しかし、子どもたちが学校で学んだことについては、子どもの学びとなるだけでなく、家庭に帰って子どもが話し、家族がその話に耳を向けることで、その学びを共有するきっかけとなることが多い。そこで、小・中学生に防災教育の場を設け、自助・共助・近助の大切さや、命を守るための知恵を学び、日ごろの防災意識を高める必要がある。 小・中学生に対する防災教育の充実</p>	区振興課	健康安全課 (旧保健給食課)	<p><予算要求の方向性> 浜松市の防災教育における基本理念を「様々な自然災害から生き抜く子の育成」「自然災害発生後共に生き延びる子の育成」として、学校（園）における防災教育の充実を図るため、以下の事業に取り組む。</p> <p><予算要求の結果> ①学校（園）防災課題サポート事業 ・内容：防災教育・防災管理等に関する課題を抱える学校（園）に対し、防災有識者の派遣、防災関係者を講師とした防災講座・防災講演会を開催する。 ・H29当初予算額：152千円（有識者謝礼63千円 管外旅費89千円） ②浜松市版防災ノート作成事業 ・内容：浜松市の実情に応じた実効性のある防災教育教材として、浜松市版防災ノートを作成する。 防災ノートは、発達段階に応じて4区分（小学校低学年、中学年、高学年、中学校）を作成する。 ・H29当初予算額：5,521千円（印刷製本費5,300千円 管内旅費164千円 管外旅費52千円 会場借上5千円） ・スケジュール：平成29年度中に作成 平成30年度から活用</p>

No.	事業	区からの提案	区提案課	本庁所管課	所管課からの回答（予算要求の方向性と結果）
11	青少年音楽活動助成事業	<p>（区協議会委員意見） ユネスコ創造都市ネットワークに加盟が認められて以来、フォーラムや音楽祭が開催されているが、市民レベルの盛り上がりを感じられない。世界に向けて発信することも大事だが、一般市民にもっとアピールして、市民の音楽活動が音楽都市・浜松の基盤となるように考えるべきである。</p> <p>市民、特に青少年の音楽活動を助成する事業の創設</p>	区振興課	文化政策課	<p><予算要求の方向性> アジア圏内における吹奏楽のレベル向上及び吹奏楽に携わる人々の人的交流を図ることを目的に、吹奏楽に関する研究発表、講演、コンサート等を2年毎に企画・開催しているアジア・太平洋吹奏楽指導者協会大会の第20回大会を2018年（平成30年）に浜松で開催する。 このため、2016年（平成28年）到北京で開催される第19回大会に、浜松市内の中高校生から選抜吹奏楽団を結成し派遣した。来年度に浜松で開催する理事会、平成30年度の大会開催を通じてアジア太平洋地域の音楽文化交流を進め、浜松の次代の音楽文化を担う青少年の音楽活動の支援と活性化を図る。 また、地域に根差した市民の文化的創造活動を専門家が助言・指導・支援する中間支援組織（浜松型アーツカウンシル）の仕組みづくりについて検討を進め、市民の文化的活動の更なる充実を図っていく。</p> <p><予算要求の結果> 平成29年度当初予算額 ●アジア・太平洋吹奏楽指導者協会大会開催事業（H30開催に向けた準備）8,111千円 ●浜松版アーツカウンシル事業（推進体制の構築）20,000千円</p>
12	病児・病後児の保育	<p>（区協議会委員意見） 仕事と子育てを行っている親を支援するために、病児・病後児保育が必要である。他の区には対応できる保育園等があるが、中区には現在のところない。</p> <p>専門家がいて、病院などとも連携の取れている病児・病後児保育の確保</p>	区振興課	幼児教育・保育課	<p><予算要求の方向性> 浜松市子ども・若者支援プランの事業計画に基づき、病児・病後児保育については平成31年度までに市内で7施設（うち中区は2施設）で実施されるよう、保育事業者や関係各機関等に働きかけてきた。現在、平成29年度からの新規開設に向けて、保育所等の事業者及び連携する医療機関と調整を進めている。</p> <p><予算要求の結果> ●内容：保護者の子育てと就労の両立を支援するため、市内の保育施設等6施設において、病気又は病気回復期の児童を看護師等と保育士が一時的に保育を行う。 （中区は2施設新規開設 定員4人×2施設） ●平成29年度当初予算額：委託料71,730千円（中区は21,893千円） ●スケジュール：4月委託契約（契約期間H29.4.1～H30.3.31）</p>

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項
件 名	平成 28 年度のパブリックコメントの結果について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	—
対象の区協議会	中区協議会
内 容	平成 28 年度のパブリックコメントの結果について報告するもの。 結果一覧は別紙のとおり。 なお、個別案件の詳細については、浜松市ホームページをご参照ください。
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	—
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成28年度 パブリックコメント実施結果一覧

No.	協議会 開催日	案件名	意見数	案に対する反映結果 (※)	担当課
1	5月25日	第10次浜松市交通安全計画（案）	13件	<ul style="list-style-type: none"> ・案の修正 : 3件 ・今後の参考 : 3件 ・盛込み済み : 2件 ・その他 : 5件 	道路企画課
2	8月24日	浜松市立地適正化計画の基本方針 （案）	75件	<ul style="list-style-type: none"> ・案の修正 : 0件 ・今後の参考 : 52件 ・盛込み済み : 2件 ・その他 : 21件 	都市計画課
3	9月21日	浜松市空家等対策計画（案）	22件	<ul style="list-style-type: none"> ・案の修正 : 0件 ・今後の参考 : 13件 ・盛込み済み : 3件 ・その他 : 6件 	市民生活課
4	12月26日	浜松市住生活基本計画（案）	22件	<ul style="list-style-type: none"> ・案の修正 : 0件 ・今後の参考 : 3件 ・盛込み済み : 8件 ・その他 : 11件 	住宅課

※案に対する反映結果の説明

- ・案の修正 . . . 意見により案を修正した場合
- ・今後の参考 . . . 今後、運用実施していくうえで参考としてく場合
- ・盛込み済み . . . 寄せられた意見がすでに案に盛込まれている場合
- ・その他 . . . 案に直接影響を及ぼさない場合、案に反映しない場合